

陰徳あれば陽報あり 3学年通信 最終号

2026年3月1日 桑名北高校3学年団発行

ご卒業おめでとうございます



3学年生徒・保護者のみなさま、ご卒業おめでとうございます。この日を迎えるにあたり、みなさまの多大なご理解ご協力をいただきましたこと、深くお礼申し上げます。

思えば3年前、緊張や不安など、さまざまな思いをもちつつ入学式に臨んでいた生徒たちの顔を思い出します。あれから早いもので3年が経ちました。今日、卒業式で入学式と同じ場所に立つお子さまの姿はいかがでしたか？ぐっと大人の顔つきになっていたのではないのでしょうか。保護者のみなさまにおかれましても、卒業の日を迎えるにあたり、さまざまな思いがあふれているのではないかと思います。

我々学年団といたしましても、このように卒業生を送り出せることを非常にうれしく思います。学校生活ではご心配をおかけすることもあったかと思いますが、保護者のみなさまのご支援ご協力のおかげでこの日を迎えることができました。本当にありがとうございました。

この1年間、生徒たちに「徳を貯めましょう」と言い続けてきました。学年通信のタイトルでもある「陰徳あれば陽報あり」は、私の行動の指針にもなっている考え方です。人に知らなくても、人が見ていなくても、後に良い報いがあることを信じて善い行いをしなさいという意味です。これは、少し面倒くさいなとか、なんでこんなことしないといけないんだと思うようなことでも、他人の落とした徳を拾うと思って行動することが大切とも考えることができます。今後の人生において、辛いことや苦しいこと、何で自分ばかり・・・と思うようなことが必ず訪れます。そんなときこそ、「陰徳あれば陽報あり」という言葉を思い出して、乗り切ってほしいと思います。

最後になりますが、3年間生徒を支えていただき、また、本校の教育活動にご理解ご協力いただき、本当にありがとうございました。卒業生、保護者のみなさまのご健康と今後ますますのご活躍をお祈りしております。

学年主任 右田

◎ 同窓会クラス代表

1組	伊藤 海成	大滝 ももか
2組	小林 芽生	小林 涼真
3組	佐藤 はる	吉岡 竜成
4組	伊藤 愛叶	伊藤 大輝
5組	大川 心太郎	笠川 瑞葵



卒業後もよろしくお願いします！



◎ 学年団より

・1組担任：森岡 幸汰（もりおか こうた）

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

「こゝに学ぶ三年の月日 それは貴い青春の 白いページを開くとき」

これは校歌の一節です。

みなさんが桑名北高校で過ごした三年間はまさに“貴い青春”。喜びも悩みも含めたすべてが、かけがえのない貴い青春です。入学時には“白いページ”だったノートにはその日々が多く刻まれたことでしょう。卒業後はページをめくり、また新しいページが始まります。そこに、これから経験する多くの出来事や思い出を刻んでいってください。

三年生の皆さんとの関わりは、一年間という短い期間でしたが、とても濃く楽しい一年間でした。本当にありがとう。皆さんと過ごした日々は、僕の人生にも深く刻まれました。世の中に出ると、厳しく感じることや辛いこともあると思いますが、楽しいことや嬉しいことも、必ずたくさんあります。だからこそ、それぞれの道で歩み続けるみなさんを、心から応援しています。

・2組担任：水谷 駿太（みずたに しゅんた）

ご卒業おめでとうございます。

1年間という短い時間でしたが、皆さんと過ごした日々は本当に楽しかったです。いつも明るく、何事にも熱心に取り組むことができる皆さんから、いつも元気をもらっていました。幸せな時間を本当にありがとうございました。

卒業という日を迎え、みなさんは今何を感じていますか。新しい人との出会いや新しい環境での生活にわくわくしている人がいる一方で、不安を抱えている人もいるかもしれません。ですが、何も心配する必要はありません。桑名北高校で学んできたことや、紡いできた縁を大切に、自分らしく頑張れば絶対に大丈夫です。皆さんの健康と新天地での活躍を心から祈っています。

・3組担任：澁谷 悠太（しぶや ゆうた）

3年生の皆さんへ、

入学時から比べると、ずいぶん成長しましたね。それぞれいろいろなことがあったでしょうが、それらすべてを乗り越えてきた皆さんに、拍手を送りたいと思います。

桑名北高校は素晴らしい学校です。他の高校では学べないこと——桑北に来て、桑北でしか得られなかったことがたくさんあるはずです。だから、皆さんも、桑北を卒業していくことを、どうか誇りにしていってください。

僕も皆さんと過ごした3年間はとても楽しかったです。ありがとう。卒業おめでとう。

・4組担任：鈴木 朋（すずき とも）

卒業おめでとうございます。

皆さんと出会ったのは、高校2年生の4月、武道場での学年集会の時です。

あの時の、真剣に話を聞くみんなの姿から、これから始まる桑名北高校での生活にわくわくしたことを2年がたった今でも鮮明に覚えています。

そこからあっというまに2年が経ち、お別れの日になりました。皆さんにとって高校3年間はどうか。いろんなことがあったと思います。本当によくここまで頑張りました。

4月からは、それぞれの道に旅立ちます。これまで以上に苦しいこともあるかもしれませんが、桑名北高校での経験を武器に、恐れず立ち向かってください。

振り返るとこの2年間とても楽しく、充実した時間を過ごさせてもらいました。

みんなと出会い、青春の1ページに関われたことうれしく思っています。

皆さんの良い報告が、私の耳に届くことを楽しみにしています。

・5組担任：熊 美咲（くま みさき）

今日は3月1日。とうとう、卒業の日が来ましたね。私にとって皆さんは、初めて3年間担任をさせてもらった特別な学年です。さみしい気持ちもありますが、それよりも皆さんが大人になっていく過程に関われたことがすごく嬉しいです。私だけでなく、きっと他の先生方からも愛情をもって接してもらったのではないのでしょうか。素敵な皆さん、先生たちに恵まれた温かい学年だったと私は思っています。

ここまで辿り着いた皆さんなら、どこに行っても何があっても大丈夫！自信をもって自分の道を歩いていってください。

楽しい3年間をありがとう。そして、卒業、本当におめでとう。

・3学年主任：右田 直規（みぎた なおき）

3年生のみなさん、卒業おめでとう。みなさんはこの3年間振り返ってみてどうですか？良いこと、そうでないこと、たくさんの出来事があったのではないですか？それらすべてが、みなさんの思い出、経験、成長につながっていると思います。

ある先生がこんなことを言っていました。「北高坂と百段階段は人生みたいなものだ」北高坂や百段階段を上るのは、しんどくて苦しかったと思います。しかし、一段一段、一步一步上っているのです。つまり、辛い苦しいときこそ、人はレベルアップしているのです。逆に、下りは楽だったのではないですか？人生においても、辛い苦しいときに下ばかり見るのではなく、そんなときこそ北高坂・百段階段を思い出して、北高での3年間を思い出して、上を向いてもう少しだけ頑張ってみてください。すると、新しい世界が開けてくると思いますよ。

そして、徳を貯めることを忘れずに！

最後に、みなさんがこの卒業の日を迎えることができたのは、保護者の方の支えがあったることだということを忘れてはいけません。ぜひ感謝の気持ちを伝えてください。どんな形でも構いません。直接でも、手紙でも、LINEでも。（ちなみに私は手紙を書きました…）

では、みなさんの今後の活躍を願っています。 これからもがんばれ！！

